

対マラウイコミュニティ開発支援無償資金協力

第二次中等学校改善計画
中等学校引渡式

2014年9月18日



左から：西岡駐マラウイ日本大使及びガンビ教育科学技術副大臣



上：教室棟

下：女子寮内部

2012年3月30日、日本政府はマラウイ政府と総額12億円の無償資金協力案件「第二次中等学校改善計画」贈与についての交換公文を締結しました。先の交換公文締結を受け、本事業では教室棟、管理棟、厨房棟、図書棟、女子寮、教員住宅等の建設により中等学校の改善を行いました。当国中部及び北部のサリマ県、リロングウェ県、コタコタ県、ムズズ県、カタベイ県、ムジンバ県において6校の施設が改善されました。

2014年9月18日、事業の完了に伴い、サリマ県マテンジェ中等学校にて引渡式が行われ、西岡駐マラウイ日本大使からガンビ教育科学技術副大臣へ中等学校の引渡しが行われました。

西岡大使はスピーチにおいて、マラウイ政府が教育分野に重点を置き、様々な政策を実施していることを称讃し、各中等学校の生徒の学習及び生活環境が整えられたことを嬉しく思うと述べました。